

地理空間情報活用推進基本法と電子国土Webシステム研修会の概要

NPO 法人 電子自治体アドバイザークラブ
([URL:http://e-aac.naist.jp/e-AAC/](http://e-aac.naist.jp/e-AAC/))

第1回 講演会

日時: 平成20年6月26日(木)、13:00~17:00)

会場: 奈良県文化会館

挨拶

講演 1: 「地理空間情報と地域活性化について」(奈良大学文学部地理学科教授 碓井照子氏)

【概要】

地理空間情報活用推進基本法が2007年5月に制定され、2008年4月、政府は基本計画を策定した。奈良県も地理空間情報活用に関する基本計画を策定する必要がある。そのため、この法律制定の底流にある国土空間データ基盤というインフラ整備に関する考え方を紹介し、奈良県の地域活性化と地理空間情報活用推進基本法がいかに関連するかを説明する。また、人材育成や産官学連携組織のありかたについても考えてみる。

【碓井照子氏のプロフィール】

奈良大学 文学部地理学科教授 / (社)日本測量協会 GIS 研究所所長 / 前 GIS 学会会長・GIS 技術資格委員長、日本学術会議会員、国土交通省 GIS 整備推進検討委員会委員、ISO/TC211 国内委員会委員、経済産業省 G-XML 検討本委員会委員などを歴任。空間データモデル、GIS データベース、GIS システム設計等を主な専門とし、更に自治体 GIS や防災 GIS、都市計画 GIS、考古学 GIS、農業政策 GIS、環境 GIS といった応用分野も積極的に研究。

講演 2: 「奈良県南部の人口問題と地域再生について」(奈良大学社会学部准教授 中原洪二郎氏)

【概要】

日本の多くの山村集落が、自治体経営という観点から見ても、コミュニティの維持という観点から見ても、深刻な人口減少問題に直面している。少子高齢化が進む現代社会において、「人口増加」という方向性は必ずしも現実的とは言えず、地域活性化や地域再生という言葉すら空回りしがちである。厳しい状況の中、人口減少問題に直面する自治体はどのような道を進めばよいのだろうか。地理情報の活用を含んだ地域活性化の方略を探る。

【中原洪二郎氏のプロフィール】

奈良大学社会学部准教授(計量社会学) / 奈良大学地域 連携教育研究センター研究員 / 奈良大学「最先端の地理情報システムを地域活性化の広い領域で応用技術として活用できる人材を育てる地域教育プロジェクト」コーディネータ / 斑鳩町都市計画審議会 委員 / 専門の民族問題と並んで、地域ブランド戦略による地域活性化技法の研究に取り組んでいる。

講演 3: 「地理空間情報活用推進基本法と基盤地図情報の整備」

(国交省(国土地理院)地理空間情報企画室長 大木章一氏)

【概要】

地理空間情報に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に地理空間情報活用推進基本法(以下「基本法」という)と、基盤地図情報に関する国土交通省令及び国土交通省告示が、平成19年8月に施行された。本年4月15日には、基本法を推進するための具体的な施策として地理空間情報活用推進基本計画が閣議決定された。本報告では、これらの内容と、基盤地図情報の整備や提供などの国土地理院の取組みを紹介する。

第2回 実習

日時: 平成20年7月24日(木)、13:00~17:00)

会場: 奈良大学J201

実習 1: 「ウェブページの作成研修」

(奈良先端大学院大学名誉教授 小山正樹氏)

【概要】

ウェブベースのGISを理解するために、ウェブで使われるマークアップ言語とスクリプトさらにスタイルシートについて、実際にパソコンを使いながら実習を行う。第一回は、最も基本となるHTML(HyperText Markup Language)の基本構造を実習し、実際のブラウザでどのように表示されるかを見る。さらに、よりダイナミックで見栄えのよいウェブページを作るためのJavaScriptとCSS(Cascading Style Sheet)の簡単な実習を行う。

【小山正樹氏のプロフィール】

大阪大学博士課程終了後、1969年、日本電信電話公社電気通信研究所に入社し、伝送技術の研究に従事。その後、研究開発本部調査役、伝送システム研究所研究部長、研究企画部長を歴任され、1992年、技術情報センター所長(理事)に就任。1994年、奈良先端科学技術大学院大学教授に就任し、2007年3月定年退官し、同大学名誉教授となる。その間、2005年、世界で最も権威があり、最も大きな学会、IEEE(本部:米国)の関西支部の委員長に就任。囲碁教育研究会のメンバーで囲碁の対戦型プログラムを開発し、インターネット碁会所などいくつかのページを運営している。e-AAC 副理事長

実習 2: 「電子国土Webシステムの研修」

(奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)

【概要】

本シリーズの研修では、利用者自身が「電子国土 Web サイト」を構築して情報発信を行うことを目的とする。研修では、まず電子国土 Web システムで使用されている電子地図データやWeb-GISを簡潔に理解した後、電子国土 Web システムによる情報発信を先進的に行っている府県のWebサイトを閲覧しながら、電子国土 Web サイトの操作法の実習を行う。(各回とも実習の都合等で内容を調整する場合もある。)

【酒井高正氏のプロフィール】

奈良大学文学部地理学科教授 / 地理情報システム学会理事 / 近畿都市学会理事(事務局長) / 日本地理学会会員 / 人文地理学会会員 / 日本人口学会会員 / 専門分野: 人口地理学、地理情報システム(GIS) / 『GIS 原典』古今書院(共訳)

第3回 実習

日時: 平成20年8月11日(月)、13:00~17:00)

会場: 奈良大学I-105

実習 1: 「ウェブページの作成研修」

(奈良先端大学院大学名誉教授 小山正樹氏)

【概要】

第二回はウェブページデザインのための種々の技法を説明し、その一部について実習を行う。とくに、GISがパソコンでも可能となったSVG(Scalable Vector Graphics)の基本構造を理解するとともに実習を行う。さらに、よりダイナミックなウェブページを作るためのAJAX(Asynchronous JavaScript and XML)技術、Java Appletなどについて実習する。

実習 2:「電子国土Webシステムの研修」 (奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)
【概要】

研修では、実際に Web サイトに電子国土システムを埋め込む実習を行う。まず、HTML と Java Script を用いてページの中で日本地図を表示させる。また、地図をスクロールあるいは拡大・縮小させる機能を付加し、ページ上で電子国土地図の基本的なコントロールを行えるようにする。

第4回 実習

日時: 平成 20 年 9 月 10 日(水)、13:00~17:00 会場: 奈良大学J201

実習 1:「電子国土Webシステムの研修」 (奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)

【概要】

研修では、利用者自身が電子国土の地図上に図形や文字を書き込む実習を行う。まず図形や文字を編集するための作図パネルをページに組み込み、その作図パネルを用いて実際に受講者それぞれの自治体等の諸施設のデータを作成して電子国土地図上に表示させる。

実習 2:「電子国土Webシステムの研修」 (奈良大学文学部地理学科教授 酒井高正氏)

【概要】

前回までは実習用コンピュータ内部に電子国土 Web サイトを作成したが、研修では実際にインターネット上にサイトを公開する実習を行う。日本地図センターの「スタート電子国土マップ」サービスを利用する予定である。さらに、電子国土サイト構築支援ソフト「でんさく」を用いて、簡単により高度なサイトを作成する実習も行う。

第5回 講演会

日時: 平成 20 年 10 月 6 日(月)、13:00~17:00 会場: 奈良市北部会館

講演 1:「先進的な自治体の取り組み事例Ⅰ」(岐阜県予定)

講演 2:「先進的な自治体の取り組み事例Ⅱ」(大阪府予定)

【主催】:

- ・特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ
- ・科学研究費基盤B「地理的思考方とGIS技能をベースにした地域力育成のための地理教育に関する研究」研究グループ

【共催】:

- ・奈良大学文学部地理学教室
- ・奈良大学地域連携教育研究センター

【後援】:

- ・国交省(国土地理院) ・総務省(近畿総合通信局) ・経産省(近畿経済産業局) ・奈良県
- ・奈良県市長会 ・奈良県町村会 ・奈良先端科学技術大学院大学 ・IEEE 関西支部
- ・地理情報システム(GIS)学会 ・奈良地理学会 ・日本測量協会
- ・奈良県測量設計業協会 ・奈良県土地家屋調査士会 ・奈良 GIS 研究所

【協力団体】:

- ・(財)日本地図センター ・西日本電信電話株式会社奈良支店 ・株式会社 NTT データ関西
- ・富士通株式会社 ・シャープ株式会社 ・NPO 大和循環型社会創造機構